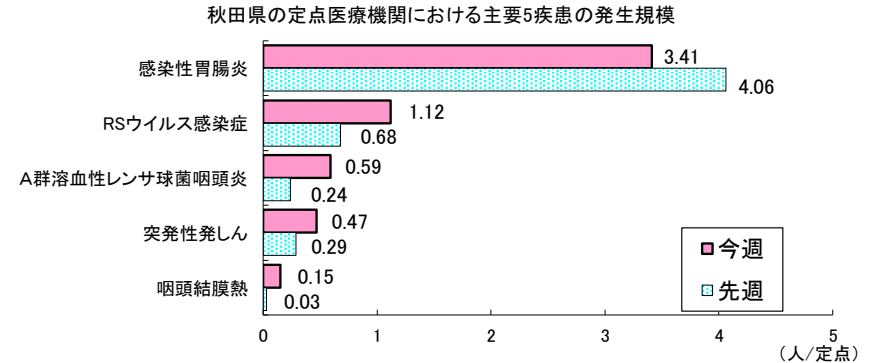




【第15週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で16%減少しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、横手で増加、北秋田で同規模、大館、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で1.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、湯沢で増加しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で2.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、大仙、湯沢で増加、秋田中央で同規模、北秋田、由利本荘で減少しています。



発生報告

次回(第16週)の週報は、2021年4月30(金)に公表します。

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減			
RSウイルス感染症	0.68	1.12	↗	3.14	5.00	↗									0.25	0.50	↗										0.33	↗		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.15	↗		0.43	↗														0.25	↗					0.33	0.33			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	0.59	↗	0.29	0.86	↗	0.50	1.00	↗	0.50		↘			0.25	0.25		0.50	0.25	↘		1.75	↗				0.33	↗		
感染性胃腸炎	4.06	3.41	↘	6.43	8.43	↗	1.00	0.50	↘	0.50	0.50		1.00	4.67	↗	1.25	3.75	↗	18.00	4.00	↘	1.50	0.50	↘		2.33	↗	0.67	↘	
水痘	0.15	0.12	↘				1.00		↘					0.33	↗		0.25	↗	0.25	0.50	↗									
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.29	0.47	↗	0.57	0.86	↗	0.75	0.50	↘					0.33	↗				0.50	0.75	↗		0.50	↗		0.33	↗	0.33		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎																														
無菌性髄膜炎																														
マイコプラズマ肺炎																														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から3人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から17人、大館保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から9人、大仙保健所管内から11人、横手保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患> (人)

類型	疾患名	1週-14週			15週
		全国	秋田	秋田	
一類	エボラ出血熱				
	クリミア・コンゴ出血熱				
	痘そう				
	南米出血熱				
	ペスト				
	マールブルグ病				
	ラッサ熱				
二類	急性灰白髄炎				
	結核	3993	15	2	
	ジフテリア				
	重症急性呼吸器症候群				
	中東呼吸器症候群				
	鳥インフルエンザ(H5N1)				
	鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ				
	細菌性赤痢	4			
	腸管出血性大腸菌感染症	230	1	4	
	腸チフス				
	パラチフス				
四類	E型肝炎	157			
	ウエストナイル熱				
	A型肝炎	23			
	エキノкокクス症	6			
	黄熱				
	オウム病	1			
	オムスク出血熱				
	回帰熱	2			
	キャサナル森林病				
	Q熱				
	狂犬病				
	コクシジオイデス症				
	サル痘				
	ジカウイルス感染症				
	重症熱性血小板減少症候群	16			
	腎症候性出血熱				
	西部ウマ脳炎				
ダニ媒介脳炎					
炭疽					

(人)

類型	疾患名	1週-14週		15週
		全国	秋田	
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	67		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	14		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	3		
	野兎病			
	ライム病	4		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	291	4	
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	139	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	55	1	
	カラバネム耐性腸内細菌科細菌感染症	448	6	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	6		
	急性脳炎	85		
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	45		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	183	1	1
	後天性免疫不全症候群	252		
	ジアルジア症	11		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	62	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	320	4	
	水痘(入院例に限る)	68	1	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	1595	15	
	播種性クリプトкокクス症	34		
破傷風	20			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	27			
百日咳	161	3		
風しん	5			
麻しん				
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
* 新型コロナウイルス感染症		185	40	

\* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<腸管出血性大腸菌感染症の報告がありました>

腸管出血性大腸菌感染症が4月に入ってから第15週までに5件報告されています。腸管出血性大腸菌は、ペロ毒素と呼ばれる毒素を出す大腸菌で、感染力が強いのが特徴です。昨年、10月から11月にかけては県内において保育施設を起点とした集団感染も発生しています。例年、気温の上昇に伴って患者数が多くなる傾向にありますので、今後も十分な注意が必要です(図)。

■症状

感染すると3~5日の潜伏期間の後、激しい腹痛と水のような下痢を起します。続いて、出血性大腸炎により鮮血の混じった下痢(血便)が出るのが特徴です。腎不全を伴う溶血性尿毒症候群や脳症といった重い合併症を併発する場合があります。特に、子供や高齢者は重症化のリスクが高いとされています。

■予防のポイント

- ・トイレの後、動物に触れた後、食品を取り扱う際は、石けんを使ってよく手を洗いましょう。
- ・調理器具はよく洗い、生肉を扱う箸などは他の食材で使用するものと区別し、使用した後に他の食材に触れないようにしましょう。
- ・野菜や果物を生で食べる場合は流水でよく洗い、食肉等は十分な加熱をしましょう。また、調理後は早めに食べるようにしましょう。

※ 腹痛、下痢、おう吐、血便などの症状があったときは、早めに医師の診察を受けてください。自己判断で市販の下痢止めを服用し、重症化した例もあります。

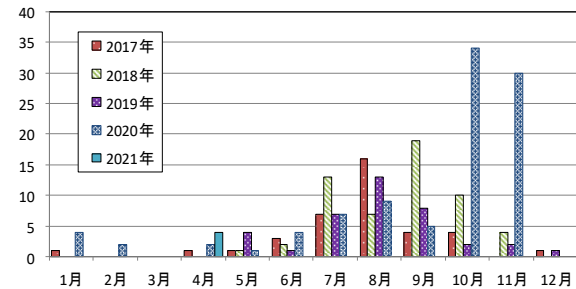


図2 秋田県における腸管出血性大腸菌感染症報告数 \*2021年第15週 現在

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎5件、溶血性レンサ球菌感染症1件の集団発生報告がありました。

種別	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児等)	職員	計			
感染性胃腸炎	秋田市	こども園いずみ風の遊育舎	4/12	89名のうち34名	30名のうち5名	39名	4/8 ~ 4/13	嘔吐、腹痛、下痢、発熱	
	能代市	能代第一保育所	4/13	68名のうち15名	30名のうち1名	16名	4/8 ~ 4/13	嘔吐、下痢	ノロウイルス
	五城目町	もりやまこども園	4/14	138名のうち29名	40名のうち2名	31名	4/3 ~ 4/14	下痢、嘔吐	ノロウイルス
	湯上市	追分保育園	4/15	151名のうち10名	44名のうち0名	10名	4/6 ~ 4/15	下痢、嘔吐	ノロウイルス
	秋田市	寺内保育所	4/17	82名のうち25名	38名のうち3名	28名	4/12 ~ 4/19	嘔吐、下痢、発熱	ノロウイルス
溶レン菌	仙北市	角館西保育園	4/14	30名のうち19名	14名のうち0名	19名	4/2 ~ 4/14	発熱、咳	溶血性レンサ球菌



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		